

# Automa

## インパクトレポート 2024 (ショートバージョン)



主催

協力



## 免責事項

本インパクトレポートに記載されている情報およびデータは、すべて当該企業が所有・提供するものです。ANGINおよびJICAは、データの正確性を確保するよう努めておりますが、本レポートに記載された情報およびデータの正確性、完全性、信頼性、有効性について一切の所有権および責任を負うものではありません。

本レポートの情報に基づいて意思決定や行動を取る際は、読者自身の責任において情報およびデータの正確性を確認してください。



## JICAからのメッセージ

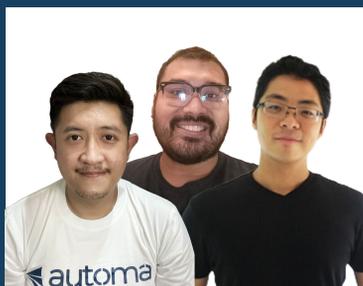
独立行政法人国際協力機構（JICA）は、日本政府の政府開発援助（ODA）の実施機関であり、1960年代よりインドネシアと長年にわたる協力関係を築いてきました。これまでに、インドネシアの社会経済発展を支援するため、多様なプロジェクトを実施しており、中央政府・地方政府、NGO、学術機関、民間企業を含むインドネシアおよび日本のさまざまな組織と連携しています。

「NINJA (Next Innovation with Japan)」プロジェクトは、JICAが推進する重要な取り組みの一つです。ご存じのとおり、スタートアップは革新を通じて社会課題の解決に大きな影響を与えています。JICAはスタートアップを重要なパートナーと位置づけており、その支援の一環として、NINJAはまずアフリカで開始されました。アフリカでの成功を受け、その対象は世界各地へと拡大し、NINJAインドネシアは2021年に開始され、今年で4年目を迎えます。

2024年は、「グリーントランスフォーメーション」「自然環境と保全」「持続可能な水資源の確保・管理」など、環境負荷の低減とカーボンニュートラルの実現を重視した分野に焦点を当てました。これは、JICAがインドネシアの豊かな自然環境を保護し、気候変動に対する「緩和」と「適応」策を講じながら、その有効活用を促進することが不可欠であると考えているためです。最終的に、264の応募企業の中から、Automa Supply Chain, Kepul, Parongpong RAW Labの3社が特別なパートナーとして選出されました。

本インパクトレポートは、2024年のJICA NINJAインドネシアプロジェクトの一環として作成されており、選ばれたスタートアップが社会にどのような影響を与えるのかを示すものです。

本レポートが、読者の皆様にこれらのスタートアップについての理解を深める機会となり、より多くのパートナーが社会的インパクトの創出と拡大に向けて共に取り組むきっかけとなることを願っています。



### Alfons Tefa

Automa CEO

### Eumir Bethbeder

Automa CMO

### Wirawan Winarto

Automa CTO

## 創業者 メッセージ



Automaは、私の家族の事業が直面した物流詐欺の課題に対応するために設立されました。この課題の根本には、オフラインでの配送活動とオンライン ERPシステムの間を生じる透明性の欠如があり、この情報の非対称性により不適切な取引が繰り返され、信頼と資源の損失を招いていました。この課題を解決するため、私たちはIoT技術を活用してオフラインとオンラインのデータを統合するプラットフォームを開発し、透明性を向上させ、非効率を削減し、よりの確な意思決定を可能にしました。

事業の成長とともに、私たちは透明性、統合、革新という基本理念が、より大きなグローバル課題、すなわち炭素排出削減にも貢献できることに気付きました。企業が排出量を追跡・削減・報告できるツールを開発することで、脱炭素化の加速と、グリーン・インフレーション（環境対応によるコスト上昇）を5%未満に抑えることを目指しました。持続可能性はもはや理想ではなく、業務の最適化、廃棄物削減、長期的な収益性の向上というビジネスチャンスでもあるのです。

現在、私たちは単に物流課題を解決するだけでなく、企業がサプライチェーンを効率性と持続可能性の原動力へと転換できるよう支援しています。透明性、統合、革新という理念のもと、Automaは企業の成長と環境負荷の低減を両立させる未来を築くことに取り組んでいます。

# 課題

## インドネシアにおけるサプライチェーンの運用

グローバルなサプライチェーンは、調達、輸送、ビジネストラベルを通じて企業の総温室効果ガス排出量の約 75%を占めているとされています。特に、食品、建設、ファッション、消費財、電子機器、自動車、専門サービス、貨物輸送の 8つの主要産業は、世界の排出量の 50%以上を占めるほどの環境負荷をもたらしています。

インドネシアでは、サプライチェーン運用の主要要素であるエネルギー部門の排出量が過去 20年間で2倍以上に増加し、2021年には約 6億トンの CO<sub>2</sub>排出を記録しました。この結果、インドネシアは世界第 9位の排出国となっています。

グローバル化により、サプライチェーンは極めて複雑かつ密接に絡み合った構造となっており、包括的な効率性の向上が困難な状況です。これにより、運用コストの増加、資源の無駄や過剰在庫の発生、競争力の低下、さらには規制およびコンプライアンスリスクの増大といった深刻な経済的・運用上の課題が発生しています。



データ統合の不足と可視性の欠如



デジタル化および技術導入の遅れ



持続可能性ツールおよび炭素管理へのアクセスの欠如



規制の複雑さとコンプライアンス対応の課題



ステークホルダー間の連携不足

### Automaの取り組み

ますます複雑化するサプライチェーンの環境において、Automaは、サプライチェーンの非効率性と排出量の問題に対応します。データの処理および統合を通じて、以下の課題解決に取り組みます。

## 01

サプライチェーン全体における可視性と調整の不足による非効率性

## 02

サプライチェーン運用における高い炭素排出量

## 03

特に中小企業(SME)におけるデジタル化とデータ統合の遅れ

# 課題

## 効率的なサプライチェーン

非効率的で高排出なサプライチェーンは、カーボンフットプリントの増大、資源の枯渇、コストの上昇を引き起こし、持続可能性や経済成長の妨げとなっています。強靱で持続可能なサプライチェーンのインフラを確立することで、「デグロース(意図しない経済活動の縮小)」という極端な選択肢を回避することが可能になります。デグロースが進行すると、経済停滞、失業の増加、社会不安などの深刻な影響を及ぼす恐れがあります。

企業が連携し、透明性を確保しながら持続可能な取り組みを統合することで、経済・環境・社会のバランスを実現できます。このアプローチは、環境負荷を軽減するだけでなく、資源意識の高いグローバル市場において、産業が長期的に成功するための基盤を築きます。

### 01

#### 経済の安定と成長

効率化を図ることで企業のコストを削減し、競争力を強化することで経済成長を促進します。また、効率的なサプライチェーンは、グローバルな貿易問題、パンデミック、自然災害といった予期せぬ事態に対する耐性(オペレーショナル・レジリエンス)を高める役割も果たします。

### 02

#### 環境の持続可能性

効率的なサプライチェーンは、不要な輸送、エネルギー消費、廃棄物を最小限に抑え、カーボンフットプリントの削減に大きく貢献します。また、最適化されたサプライチェーンは資源の活用効率を向上させ、天然資源の枯渇を抑制し、長期的な環境保全を実現します。

#### インドネシアの輸送部門

輸送部門は、エネルギー関連排出量の 26%を占めており、その90%以上が陸上輸送によるものです。

#### インドネシアの輸送部門における排出予測

対策を講じない場合、2030年までに輸送部門の排出量は2015年比で53%増加すると予測されています。

#### インドネシアの将来目標

インドネシアは、2050年までに世界第4位の経済大国となることを目指しており、実質 GDPは6.3兆ドルに達すると推定されています。この目標の達成には、拡大するサプライチェーンと輸送部門の排出量を持続可能な形で管理することが極めて重要です。

# Automa について

Automaは、サプライチェーン管理、エネルギー最適化、持続可能性を革新する先進的な B2Bオペレーションプラットフォームです。2022年の設立以来、業務効率を向上させつつ環境負荷を最小限に抑えたいと考える企業の重要なパートナーとして急速に成長してきました。私たちの革新的なソリューションは、IoTとデータ統合を活用し、輸送、倉庫管理、エネルギーシステムを最適化することで、サプライチェーンの効率性、レジリエンス、接続性を向上させます。

私たちは、サプライチェーンの脱炭素化を推進することを使命としています。クライアントがあらゆるスコープの炭素排出量を監視・管理できるよう支援し、高度なエネルギーモデリングツールを提供することで、持続可能な取り組みへのアクセスと実践を促進するリーダー的存在を目指しています。統合型ソリューションにより、データ駆動型の意思決定と全体的な業務効率を向上させ、運用コストと環境負荷の両方を削減することを可能にします。

Automaでは、テクノロジーを活用したサプライチェーンの変革という使命のもと、5つのコアバリューを大切にしています。持続可能性は私たちの事業の根幹であり、あらゆるソリューションにおいて環境責任を推進することに尽力しています。イノベーションを追求し、常に最先端技術を取り入れる姿勢を持ち続けます。進歩は協力によって最大化されると考え、業界リーダー、政府機関、非営利団体と積極的に連携し、影響力を拡大しています。透明性を基盤に、すべての意思決定において倫理観と説明責任を持ち、ステークホルダーとの信頼関係を構築します。そして、顧客志向を徹底し、現代のサプライチェーンが直面する課題に対応しながら、実際のニーズに即した実用的なインパクトを提供します。これらの価値観が、持続可能で効率的かつ強靱なサプライチェーンエコシステムの未来を築くための基盤となっています。



## 私たちの 目標

- サプライチェーンの最適化と持続可能性の促進を実現する革新的なテクノロジーを提供し、企業を支援すること
- 脱炭素経済の実現に向けた意義ある進歩を推進すること

## 私たちの 望み

アジア太平洋地域におけるサプライチェーンの炭素排出管理のリーディングプラットフォームとなり、サプライチェーンが経済成長と環境保全の両方を推進するエンジンとなる、持続可能で包摂的なグローバル経済を創出すること

## コアバリュー



サステナビリティ



イノベーション



トランス  
ペアランシー



協力



顧客志向

# ソリューション

私たちは、サプライチェーンの非効率性と排出量の課題を統合的なソリューションによって解決します。IoTを活用したデジタルサプライチェーンプラットフォームを提供し、物流、倉庫管理、エネルギー管理における可視性、オートメーション、持続可能性を向上させます。当社のソリューションは、リアルタイムトラッキング、炭素排出分析、モジュール型ビジネスアプリを統合し、関連ステークホルダーとの接続性を強化します。データ駆動型の意思決定を可能にすることで、業務の最適化を支援し、低炭素経済に適応した事業運営を実現します。

## サプライチェーンソーシャルプラットフォーム

当社のサプライチェーン・ソーシャルプラットフォームは、効率性、可視性、持続可能性を向上させる統合型デジタルエコシステムです。企業とベンダー、顧客をつなぎ、データドリブなサプライチェーン環境を構築し、シームレスなデータ共有とシステムの相互運用性を実現します。本プラットフォームは、IoTを活用した3つの主要システム（TMS、WMS、EMS）によって支えられています。IoTベースのインサイト、オートメーション、リアルタイムデータ分析を活用することで、企業は業務効率の向上、コスト削減、環境負荷の低減を実現できます。



### Transportation Management System (TMS)

- 包括的なフリート管理を提供し、受発注および配送管理を最適化
- 可視性、信頼性、顧客満足度を向上させるとともに、車両の非効率性によるコストと排出量を削減



### Warehouse Management System (WMS)

- オートメーションとリアルタイムトラッキングを活用し、倉庫運用を効率化
- 廃棄物の削減、エラーの最小化、倉庫全体の生産性向上に貢献



### Energy Management System (EMS)

- 物流および倉庫におけるエネルギー消費を最適化
- 再生可能エネルギー導入ソリューションを統合し、エネルギー監査およびIPMVP（国際パフォーマンス測定検証プロトコル）に基づいた省エネルギー効果の正確な測定を実現

主要システムに加え、プラットフォームの機能を拡張するビジネスサポートアプリ（Store、3PL、Rent、Driver、Maintain、Energy Apps）を提供し、企業が業務をカスタマイズし、より高い管理能力を発揮できるよう支援します。さらに、B2B Eコマースソリューションを導入し、企業、サプライヤー、物流プロバイダー間の取引やデジタル注文処理をシームレスに行える環境を構築します。Eコマース機能をサプライチェーン業務に統合することで、リードタイムの短縮、サプライヤーとの連携強化、物流の最適化を実現します。

当社のプラットフォームの最大の強みは、これらすべてのシステムを統合し、一元的なネットワークとして運用できる点にあります。エンドツーエンドの可視化、リアルタイムオートメーション、データドリブなインサイトを提供することで、企業の業務効率を最大化し、コスト削減と持続可能な成長を実現します。

# ソリューション

## カーボンレポート・分析

当社のカーボンレポートおよび分析ツールは、Scope 1、2、3の炭素排出量を追跡・分析できるソリューションです。このシステムは単独のツールとして使用可能であり、企業が独自に排出データを入力・管理できるほか、当社のサプライチェーン・ソーシャルプラットフォームと統合し、リアルタイムの自動データ追跡を行うことも可能です。この柔軟性により、デジタル化の進捗が異なる企業でも包括的な炭素排出量管理と持続可能性レポートの恩恵を受けることができます。プラットフォームと連携することで、IoTを活用した監視機能と炭素分析が統合され、高排出領域の特定や排出削減の機会を明確化できます。

 <p><b>01</b></p> <p><b>Scope 1: 直接排出</b></p> <p>当社のTMS(輸送管理システム)およびEMS(エネルギー管理システム)を活用することで、フリートの燃料消費とエネルギー効率を最適化し、Scope 1の排出量削減を支援します。</p>	 <p><b>02</b></p> <p><b>Scope 2: 間接排出</b> (購入した電力・熱エネルギーの使用による排出)</p> <p>EMSは、リアルタイムのエネルギー監視、再生可能エネルギーの統合、エネルギー最適化を実現し、Scope 2の排出削減をサポートします。</p>	 <p><b>03</b></p> <p><b>Scope 3: バリューチェーン全体での間接排出</b> (サプライヤーや輸送による排出)</p> <p>当社のサプライチェーン・ソーシャルプラットフォームは、サプライヤーの排出量を監視し、カーボンオフセット市場との連携を提供することで、Scope 3の排出管理を強化します。</p>
--	--	--

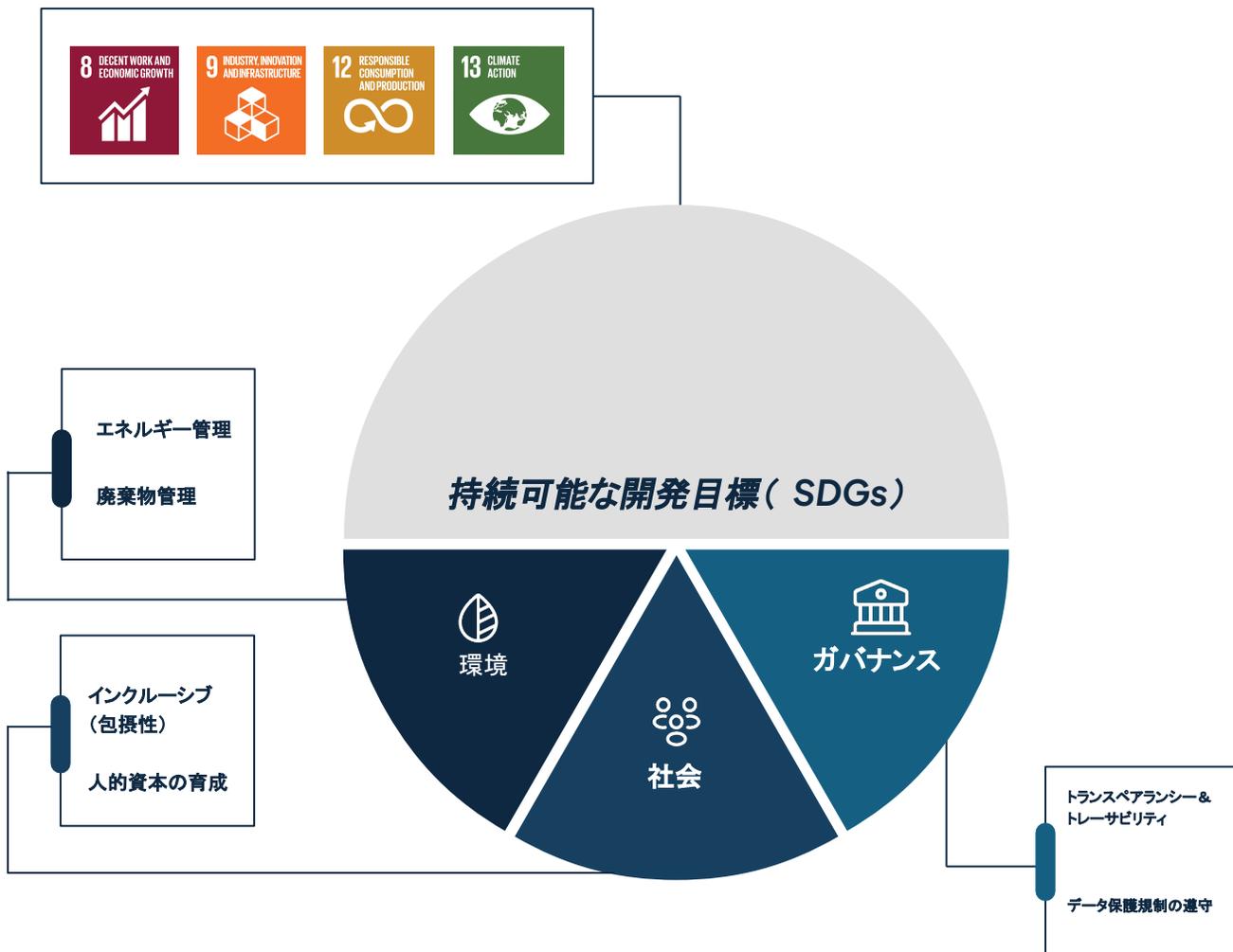
分析機能と規制遵守の監視を通じて、企業は脱炭素化目標への進捗を可視化できるだけでなく、IFRS S2やESGレポート要件などの持続可能性基準への適合を確保できます。



## インパクト & ESG

本セクションでは、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する企業活動の改善に向けたインパクトの進捗状況および持続可能性に関する取り組みを開示します。私たちの取り組みは、自社の成長だけでなく、環境、地域社会、そしてすべてのステークホルダーにとってプラスの変化をもたらすことを目的としています。

# インパクトサマリー



経済成長と環境の持続可能性は両立すべきものであり、長期的な経済の安定は、資源と環境への責任ある管理に依存しています。現代経済は、持続可能な運営への移行を求められる圧力がますます高まっており、その中心にあるのがサプライチェーンです。サプライチェーンは資源調達から最終製品の配送に至るまで、経済活動全体を支える重要な要素であり、その影響は極めて大きいものです。

Automaは、脱炭素経済の実現に向けた取り組みを進めています。炭素排出量を大幅に削減しながらも、成長と生産性を維持できる経済システムを構築することを目指しています。効率的な運営こそが持続可能な運営であるという考えのもと、私たちはテクノロジーとデジタルソリューションを活用し、企業が持続可能性規制に対応するだけでなく、進化するグローバル市場で競争優位性を確立できるよう支援します。

さらに、サプライチェーンの持続可能性は、業界、サプライヤー、規制当局など、多様なステークホルダーとの協力によってのみ実現可能であると考えています。そのため、当社の取り組みやソリューションは、データ統合と接続性の促進を重視し、サプライチェーン全体の透明性と効率性を向上させています。最終的に、持続可能なサプライチェーンエコシステムの構築を主導し、すべての関係者にとって利益となる仕組みを生み出すことを目指しています。

この取り組みの一環として、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿った活動を推進し、社会にインパクトのある意義深い貢献を果たすことを約束します。また、ESGのベストプラクティスを企業内でも実践し、包括的なインパクトを創出することを重視しています。

# インパクトターゲット

Automaは、企業の業務最適化を支援する統合型データ駆動ツールを提供することで、サプライチェーンの持続可能性を変革することを目指しています。協力と透明性を促進し、持続可能性を現代の企業運営において「アクセスしやすく、測定可能で、シームレスな要素」とすることを目標としています。最終的には、効率的かつ強靱なサプライチェーンが、収益性と持続可能性の両立を実現する脱炭素経済の構築に貢献することを目指しています。

## 01 メインインパクトターゲット

私たちは、企業と連携しながらサプライチェーンの変革を推進することで、環境へのインパクトを創出しています。企業の成長を支援すると同時に、気候変動対策に貢献するソリューションと取り組みを提供しています。

### ビジネス



当社は、業務効率の向上、コスト削減、サプライチェーンのレジリエンス強化を実現する統合型デジタルソリューションを提供し、さまざまな業界の企業の成長を支援しています。サプライチェーン・ソーシャルプラットフォームを活用することで、企業はリアルタイムで業務の可視化を実現し、関係ステークホルダーとの接続性を強化できます。

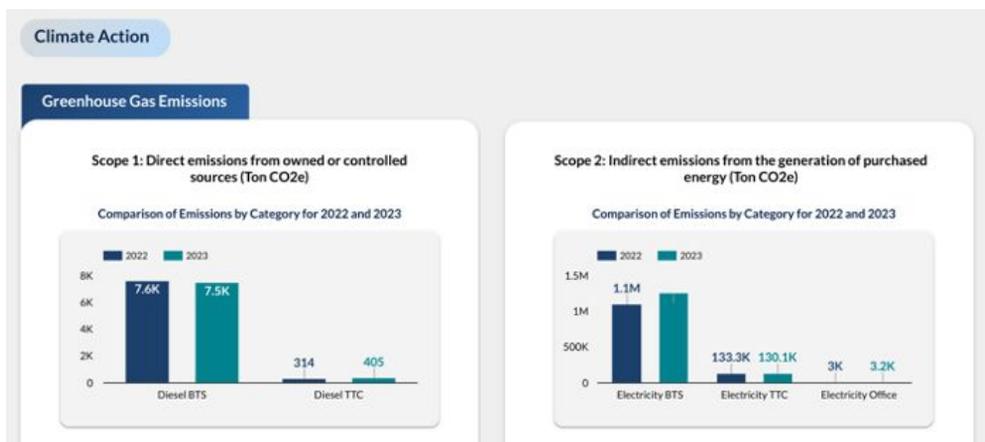
IoTを活用したソリューションにより、輸送管理システム（TMS）はフリート運用を最適化し、燃料コストや配送時間を削減し、倉庫管理システム（WMS）は在庫管理を効率化することで、廃棄物やエラーを最小限に抑えます。さらに、エネルギー管理システム（EMS）はデータ駆動型のインサイトと再生可能エネルギーの統合を通じて、エネルギー消費の削減を支援します。

効率化の枠を超え、企業がグローバルな持続可能性基準に適合できるよう支援するため、カーボンレポーティングおよび分析機能を業務に統合できるソリューションを提供しています。当社のプラットフォームは Scope 1、2、3の排出量を追跡し、企業が環境負荷を測定・報告・削減するために必要なデータを提供します。さらに、カーボンオフセットマーケットプレイスを活用することで、企業は排出量を相殺し、ESGコンプライアンスを達成しながら競争力を維持できます。

Automaは、サプライチェーン最適化と脱炭素戦略を統合することで、企業が規制要件を満たすだけでなく、急速に変化する経済環境において競争優位性を確保できるよう支援します。

# インパクトターゲット

## 環境



### カーボントラッキング

環境の持続可能性は、私たちのミッションの中心であり、企業が炭素排出量を正確に追跡・管理・削減できるツールを提供することを目指しています。当社のソリューションは正確な炭素排出量データの追跡を可能にし、企業が炭素削減に向けた意思決定をよりの確に行えるよう支援します。再生可能エネルギーの導入促進や環境負荷の最小化を推進することで、単なる規制対応を超え、実効性のある持続可能な気候変動対策を大規模に展開することを目指しています。これにより、責任ある消費と生産が現代経済の標準となるよう貢献していきます。

また、当社のプラットフォームで提供するソリューションに加え、環境保全のためのキャパシティビルディングにも注力し、持続可能性に関する研修プログラムを通じて環境保全意識の向上を促進しています。企業が持続可能なサプライチェーン運用を実践できるよう、カーボンアカウンティングの理解を深め、長期的な排出削減戦略を策定するための知識と指導を提供しています。テクノロジー・教育・ネットワークの拡充を組み合わせることで、より広範な持続可能なサプライチェーン運用を推進し、脱炭素経済の実現を目指しています。



# インパクトフレームワーク

AutomaはB2Bサプライチェーン運営プラットフォームとして、テクノロジーとデジタルソリューションを活用し、企業の業務を持続可能な実践へ最適化しています。私たちは、企業が経済的レジリエンスと環境の持続可能性の両面を構築できるツールを提供することで、脱炭素経済の推進を加速させることを目指しています。

また、当社は国連の持続可能な開発目標（SDGs）をインパクトフレームワークに組み込み、経済成長と環境保全の双方を促進する持続可能なサプライチェーンエコシステムの実現というビジョンを形成・推進・伝達しています。

## 目標

## ターゲット

## 取り組み

### 8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH



8.2 多様化、技術のアップグレード、そしてイノベーションを通じて、より高い経済生産性を実現する。

8.4 消費と生産における資源効率を改善し、経済成長と環境劣化の切り離しを目指す。

### サプライチェーンの効率性とレジリエンスを支援するツール

弊社は、輸送管理（TMS）、倉庫管理（WMS）、エネルギー管理（EMS）の各システムにおいてIoTベースの技術を活用した多様なソリューションを提供しております。各種ビジネスサポートアプリの支援のもと、これらのソリューションは可視性の向上、資源管理の最適化、及びコスト削減を実現し、脱炭素化された生産型経済に向けたサプライチェーンのレジリエンスを構築します。

### 9 INDUSTRY INNOVATION AND INFRASTRUCTURE



9.1 経済発展を支えるため、質が高く信頼性のある、持続可能かつレジリエントなインフラを整備する。

9.4 資源効率の向上とクリーンテクノロジーの活用により、インフラおよび産業の持続可能性を高める。

### テクノロジーとデータ統合を活用したサプライチェーンソリューションの開発

弊社は、リアルタイム追跡と向上した可視性を可能にするIoTベースのソリューションを導入しております。デジタル化とテクノロジーを活用した統合ソリューションの継続的な開発により、データに基づく意思決定を軸とした持続可能なサプライチェーンインフラの構築に努めています。

### 企業をつなぐ持続可能なサプライチェーンエコシステムのプラットフォーム

弊社のサプライチェーンソーシャルプラットフォームは、各ステークホルダー間の協力を促進し、持続可能なサプライチェーンインフラのネットワークを拡大するとともに、持続可能な実践を推進するエコシステムの構築を目指しています。このプラットフォームは、企業をサプライヤー、ベンダー、顧客と結びつけ、B2B Eコマースツールによって接続性をさらに強化し、物流の合理化を実現することで、システム間の相互運用性を通じた資源効率の高いエコシステムを創出します。

## 目標

## ターゲット

## 取り組み



12.2 持続可能な資源管理を実現し、天然資源の効率的な利用を促進する。

12.6 企業に対し、持続可能な事業運営を推進し、サステナビリティに関する情報を報告サイクルに統合するよう奨励する。

### サプライチェーンにおける正確なカーボントラッキングを支援するツール

弊社のカーボンレポートおよびアナリティクスは、リアルタイムの炭素排出量モニタリングおよび規制遵守の管理ツールを提供します。これらのツールを当社の主要プラットフォームに統合することで、企業は IoTを活用した監視システムとカーボンアナリティクスを連携し、効率改善および排出削減の機会を特定することが可能になります。さらに、カーボンマーケットとの連携を提供し、企業の排出削減を一層促進します。最終的に、データドリブンの効率化を通じて、持続可能性報告および国際基準への適合を支援します。

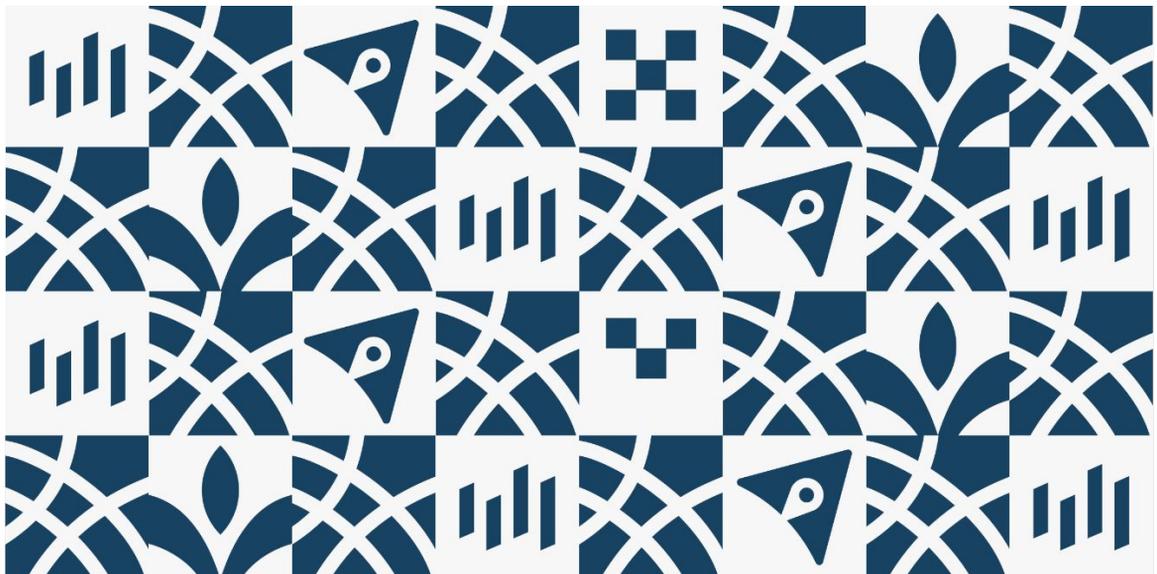


13.1 気候関連のリスクに対するレジリエンス(回復力)および適応能力を強化する。

13.3 気候変動対策の緩和に関する教育、意識向上、人材および組織の能力開発を推進する。

### サステナビリティ研修およびコンサルティング

弊社は、各種ソリューションの提供に加え、企業向けのサステナビリティ研修およびコンサルティングも実施しています。企業が持続可能なビジネス戦略を策定し、脱炭素化目標の達成に向けた長期的な戦略を構築できるよう支援します。また、本取り組みの規模を拡大するため、包括的な研修モジュールを開発中であり、現在のカスタマイズ研修を超えてより幅広い企業・組織に対する支援の機会を提供することを目指しています。



# インパクト 指標

01

メインインパクト  
ビジネス

効率

20%

平均20%の直接コスト削減  
クライアント企業の物流・サプライチェーンコストを削減

効率

200%

間接コスト削減率 200%を記録  
不正行為や密輸の防止によるコスト削減

効率

30%

平均30%のフリートおよびエリア活用率向上  
クライアント企業の資源活用効率を改善

レジリエンス

80%

サプライチェーンのレジリエンス向上を報告した企  
業の割合  
受注処理の効率化と顧客受領確認の向上

レジリエンス

95%

平均95%の注文履行率  
クライアント企業の配送精度を向上

レジリエンス

60%

顧客によるアクティブな荷物受領率



# インパクト 指標

## 02 環境

50トン

クライアント企業による年間 CO<sub>2</sub>削減量

20%

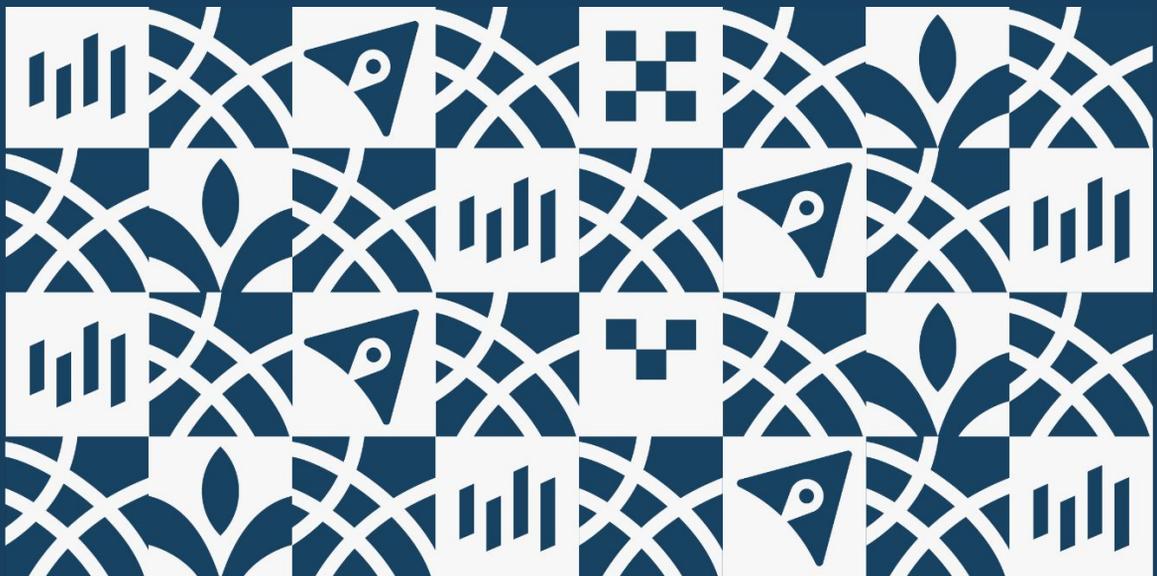
クライアント企業の燃料使用量削減率

35%

クライアント企業の在庫廃棄削減率

20回

炭素排出に関する研修の実施回数



# ESG

私たちは、環境、社会、ガバナンス(ESG)の取り組みが、事業および私たちが活動する地域社会に与える影響の重要性を認識しています。本レポートでは、当社の ESGパフォーマンスの概要を示すとともに、特に社会的指標に焦点を当てた取り組みを紹介します。

## 現在の取り組み



### 01 環境

- 完全リモート運用によるエネルギー管理
- デジタルワークフローとペーパーレス化による廃棄物管理
- 従業員向けの持続可能性に関する能力開発プログラム



### 02 社会

- 研修プログラムを通じてクライアントと積極的に関わり、持続可能な業務運営を推進
- 最先端技術を中小企業に提供し、公平な経済成長を支援するとともに、企業のレジリエンスを強化



### 03 ガバナンス

- サプライチェーン管理のトレーサビリティと倫理的調達を確保するため、ブロックチェーン技術を導入
- データ保護規制を優先的に遵守し、すべてのステークホルダーに対し安全な事業運営を実施

## ESGインパクトの拡大



### 01 環境

環境負荷の少ない設備とカーボンネガティブホスティングへの投資



### 02 社会

中小企業向けの手頃な料金プランを導入し、デジタルインクルージョンを促進



### 03 ガバナンス

GDPRなどの国際基準を採用し、データセキュリティとプライバシーを強化

# ESG



## ESG詳細 環境

Automaはサプライチェーンの持続可能性を追求する中で、環境指標において最高水準の取り組みを実施しています。持続可能な活動は、まず自社の運営から始まるという考えのもと、社内業務全体に環境負荷の低減策を導入しています。



### 私たちの希望

環境目標と連携したIT戦略の強化を目指し、環境に配慮した機器やホスティングの導入を計画しています。具体的には、省エネルギー型のノートパソコンやカーボンネガティブなホスティングソリューションに投資し、デジタルカーボンフットプリントの削減を推進します。また、e-waste（電子廃棄物）リサイクルプログラムを導入し、不要なデバイスを適切に処理・再利用する仕組みを整備する予定です。

- **完全リモート運用**  
通勤による排出ガスを削減し、オフィスの電力・暖房・冷房の消費をゼロに
- **ペーパーレス**  
デジタル署名プラットフォームやクラウドベースの文書管理を活用し、完全デジタルワークフローを実現
- **低排出トラベル**  
出張時には飛行機よりも鉄道を優先し、社内では公共交通機関や相乗りの利用を推奨
- **サステナビリティ教育**  
社員向けワークショップを実施し、廃棄物管理、持続可能な調達、資源の責任ある消費に関する実践的な研修を提供



# Automa インパクトレポート 2024

完全版は2025年3月に公開予定